

〔重修本草綱目啓蒙十七〕大麻 コヲリグサ古歌 スキグサ同上 アサ和名 ヲ同上 ヒ子

リ。土州 一名山絲苗本草 綿麻本草 逢原 絡蘇同上 好麻群芳譜 吐乙麻村家

春種ヲ下ス、方莖直上七八尺葉對生ス、形細長葉八九圓ニ並ビテ、毛ミダノ葉ノ形ノ如クニシテ

長大ナリ、コレニ雌雄アリ、雄ハケムシ、古名ヲアサ、サクラアサト云フ、花ヲ生ジテ實ヲ結バズ、釋

名ニ象麻、牡麻ト云フ、一名象牡麻群芳譜 瑤華楚辭 雌ヲメアサ、ミアサト云、花ナクシテ實ヲ結ブ、釋

名ニ苴麻、苧麻ト云フ、一名麻母本草 大麻ノ皮ヲハギタルアトノ楷ヲアサギト云フ、一名アサガ

ラ、コレヲ麻骨訓蒙ト云、一名續麻骨物類相感志 食物本草ニ、花名麻勃子名麻蕒ト云フ、釋名ニ花名麻

蕒麻勃ト云ハ、本經ノ文ニ據ル、コレハ誤ナルコト正誤ニ辨ゼリ、

〔農業全書三六〕麻

あさをうゆる法、先たねをゑらぶ事、白きが雄麻なり、白しといへども、齧て心みるに、かるくうるほひなきは糲なり、白く堅きをよしとす、これはいかにも良々田を好む物なり、中分以下の畠には作るべからず、いかほど深く耕しこなす事、力の及ぶほど塊少もなき様に、委しくこしらへたるに、まかす、十耕蘿蔔九耕麻とて、九度も耕しこなす物と云なり、又堅横七遍づ、犁かきすれば、麻に葉なく本末なりあひて、節少もなく皮うすくなかく出来ると云へり、凡種子を一段に七八升ほど蒔を中分とするなり、厚過れば細くして長からず、薄ければ皮あらく枝さきて苧あしし、蒔時なげうつべからず、節高しと云習はせり、地のぬれたるに蒔たるは、生じて瘠る物なり、地の白くかはきたる時蒔くべし、略下

〔令義解三賦三〕凡略 其調副物略 正丁一人略 麻二斤、熟麻十兩十六銖略 麻子油七勺、

〔延喜式五齋宮〕造備雜物略 中 熟麻大一斤八兩、苧小二斤二分、

凡諸國送納調庸并請受京庫雜物、積貯寮庫支配雜用略 中 麻四百斤、熟麻一百斤、已上總